

ちば山クライマーズミーティング 報告書



(谷川岳一ノ倉沢 全景)

【山城】群馬県、谷川連峰

【場所】谷川岳一ノ倉沢烏帽子沢奥壁南稜、衝立岩中央稜

【ジャンル】アルパインクライミング

【行動日】令和元年6月2日～3日

【参加者】CL 松原、SL 富樫、SL 砂田、SL 会員外 Y、山本、松本、森田、室（達）、尾崎（記録）

【6/2 行程】

＜松原・Y パーティ＞

4:30 テールリッジ → 9:16 中央稜登攀終了&下降開始 → 11:55 懸垂下降終了
地点 → 14:00 一ノ倉沢出合

＜富樫・砂田パーティ＞

5:00 南稜テラス → 10:00 頃 南稜登攀終了（砂田パーティ南稜下降） →
11:45 一ノ倉岳 → 13:00 谷川岳山頂 → 西黒尾根 → 16:30 一ノ倉沢出合

【6/3 行程】

＜松原・砂田パーティ＞

5:00 テールリッジ → 11:20 中央稜登攀終了&大休止&下降開始 → 14:50 懸
垂下降終了地点 → 16:50 一ノ倉沢出合

＜Y パーティ＞

5:30 南稜テラス → 8:50 南稜登攀終了 → 11:30 6ルンゼ懸垂下降終了 →
13:30 一ノ倉沢出合

【内容】

とある日、Maリーダーから「谷川で合宿やります。」と、そんな一言から始まった、ちば山の会アルパインクライミングの強化合宿、その名も「ちば山クライマーズミーティング」。

舞台は、日本三大岩場に数えられるアルパインクライミングの聖地の一「谷川岳一ノ倉沢」で行われた。

日本屈指の急峻な岩峰であるこの一ノ倉沢に登ることに不安がありましたが、今回はMaリーダーを筆頭に、Toリーダーやちば山の心強い先輩方が一緒にいてくれます。私も自立した登山者に一步近づく為、参加を決意。ちば山の会に入会して僅か8ヶ月の新人が果たして一ノ倉沢を登り切ることができたのでしょうか。



【出合駐車場で宴会】



【初日テールリッジにて集合写真】

6月1日の日中に千葉市内で集合し、各々の車で水上へ向かう。私達はToリーダーの車で、12:30頃、千葉を出発し、16:30頃に一ノ倉沢出合に到着しました。Su&Yoリーダーのパーティは既に到着していて、一ノ倉沢出合駐車場にテントを張って待っていてくれました。一ノ倉沢出合の駐車場は清潔なトイレあり、谷川の美味しい沢水も組み放題、地面も平坦、テント場としては100点満点この上ない場所でした。

明日に備えて装備や無線機の確認をした後の夕食は、皆で野菜を切って、味をつけて、美味しい鍋を作りました。お酒も進みながら、明日の登攀に胸踊らせつつ、夜は段々と更けて行きます。

空には谷川の山々の間からうっすらと星が瞬き、明日の登攀への緊張と興奮が入り混じった気持ちを抱きながら、各々が床について行きました。



【南陵 1P 目 Ma さんビレイ】



【中央稜 Mo さん登攀】

翌朝 2 : 3 0 に起床し準備を整え、3 : 3 0 に出発。一ノ倉沢出合を出発し、すぐに軽アイゼンやチェーンスパイクを装着、雪溪の上を歩き始めます。4 5 分ほど歩き、テールリッジに取り付き、4 : 3 0 頃、中央稜取付に到着。Ma & Yo パーティは中央稜を登るのでここでお互いの健闘を祈り、しばしのお別れです。To & Su パーティは更に 1 5 分ほど歩き南稜テラスに向かいました。早い出発だったので、大人気の南稜ルートも私達が 1 番最初に取り付くことができました。



【中央稜3 P 目 Yaさんと Moさん】

【テラスにて Su リーダー】

登攀準備と小休止を済ませ5:20に南稜登攀開始です。最初はSuパーティが先行しました。私達も後に続きます。小さい窪みに足をかけ、四肢を使い、岩壁を登って行きます。リードは岩壁に打ち込まれているハーケンにヌンチャクを掛け支点構築をしながら登って行き、Toリーダーがリードの時は、私はMu君とダブルロープを1本ずつ持ち合いビレイします。ビレイは登攀者の命綱のため、「確保やロープワークを絶対に間違っ



【クライミングの最中】



【登攀中の Moさん】

各パーティのリーダーが無線機を使ってお互いの状況を交信していた為、他のパーティが「今どの辺りを登っているのか。」「どういう状況なのか。」を常に情報交換しながら登ることが出来ました。互いに無線機で交信し合うことで、メンバーは同じ時間に同じ場所でクライミングをしていることの喜びを共有していたと思います。



【ビレイ準備中の Mu 君】



【南稜上部国境稜線を抜けて To パーティで】

私と Mu 君もリードをさせてもらいながら、着実にピッチ（以下,P）を進め、10時頃に南稜の登攀が終了しました。Su パーティはここから懸垂下降します。To パーティはそのまま登攀を続け、国境稜線を目指します。そこから約2時間弱、急斜面の藪漕ぎの始まりです（これが一番辛かったー）。肉体も精神も限界寸前、ようやく稜線に出て、11:45に一ノ倉岳山頂に到着しました。



【中央稜パーティ登攀終了】



【Yo パーティ懸垂下降 7P 目にて】

小休止の後、巖剛新道経由で下山を開始します。13:00、多くの登山客で賑わう谷川

岳山頂を後にして、巖剛新道への分岐点を目指しますが、所々に雪渓があり、足が取られ、歩行に難儀します。To リーダーが巖剛新道通過は危険と判断した為、西黒尾根に変更し、16：30、無事にテント場に到着しました。



【初日登攀後、一足先に乾杯】

他3パーティは既に到着していて、メンバーは私達Toパーティを温かく出迎えてくれました。Maリーダーがキンキンに冷やしてくれていたビールの味は格別で、「うまい！」とつい声が漏れてしまいます。その後も美味しいお鍋やチャーシューで乾杯し、暗くなった所でテントへ場所を移し、初日の疲れを癒すかのように、各々がシュラフに身を包めていきました。



【二日目の出発前 出合にて】



【二日目 テールリッジにて】

二日目、To リーダーは昨日の長時間行動により2日目は休養とし、急遽パーティの再編成を行いました。初日に中央稜を登ったメンバーは南稜へ、南稜を登ったメンバーとMaリーダーは中央稜へ登ることになりました。Maリーダーは二日続けて中央稜の登攀です。本当は登りたいルートがある気持ちを抑えて、メンバーのことを最優先考えて下さり、本当に頭が上がりません。



【中央稜をリードする Oz】



【ドライツールリングを試す Ma リーダー】

3時起床し、4：15に出発。初日に中央稜を登った Yo パーティは南稜へ、Ma&Su パーティはテールリッジ上部から中央稜へ取り付きます。1 P 目は私がリードをさせてもらうことが出来ました。一ノ倉沢をリードで登る感動を覚えながら、慎重に支点を探り登ります。2 P 目と急斜面をトラバースする 3 P 目は Ma リーダー、このルートの核心のチムニーがある 4 P 目は Mu 君がリードします。さすがの Mu 君、ルートの核心部も危なげなくリードしていきます。



【中央稜3 Pをトラバース中】

【To リーダーもこの天気ニンマリ】

続いて私が4P目をフォローしますが、流石に核心部。手がかりが非常に少ない箇所があり、精神的に追い込まれてくると足がプルプルと震え出してきます。それでも自分を鼓舞し、なんとか核心の4P目を登り切りました。5&6P目は私がリードし、その後、最終10P目まではMaリーダーとMu君がリードし登っていきました。中央稜を登っていると、隣の南稜に登っているYoパーティがよく見え、私達よりもずっと上の方を登っているのがよく見えました。



【二日目 南稜パーティ出合にて】

【二日目 中央稜の登攀終了】

11:20頃、中央稜の最終PをSuパーティも登り切り、記念撮影&大休止の後、懸垂下降を開始します。垂直の岩壁、藪、空中、様々なシュチュエーションの中の8Pの懸垂下降を、Maリーダー全て先行してくれました。ルートを知っていなければ危険な場所へ下降してしまうのが、私でも一目瞭然で、そこを全て正しいルートで安心して下降できるようにロープを貼ってくれたMaリーダーに感謝です。



【懸垂下降終了地点にて】

【二日目も無事全員下山】

14:50、懸垂下降終了点に到着。その後は藪を漕ぎ、雪渓(Mu君はこの雪渓が一番大変だったとのこと)や沢を下り、最後垂直に切れ落ちた箇所を1Pの懸垂下降をし、その後、一ノ倉沢出合を通過、17:40、無事に谷川岳ロープウェイ駅に戻ることが出来ました。この日もまた先に下山していたメンバーが駐車場で待っていて、私達を温かく出迎えてくれました。おまけにテント場も全てきれいに片付けてくれていて、荷物も駐車場まで運んでくれていました。

仲間と共に山に登られる喜びや無事に下山出来た時の安堵感など、様々な気持ちが仲間と共有できたことの素晴らしさ、そしてその絆の大切さを強く感じさせてくれた今回の合宿は、登攀技術の向上もさることながら、登山を続ける率直な理由を改めて思い出させてくれた一生忘れられない山での思い出になりました。

Maリーダー始め、今回全員のメンバーが協力し力を合わせ、同じ目的を達成することが出来、メンバー全員が一つになれた、そんな素晴らしい山行に、私も参加させて頂き、本当にありがとうございました。参加されたちば山アルパインクライマーの皆様、お疲れ様でした。



【ありがとう 谷川岳、ありがとう ちば山の会】

おしまい

<おまけ>

帰りのインターに向かう途中、「あしま園」というレストランに立ち寄りしました。To リーダーの行きつけのようです。私はカレーライス大盛りの注文。メニューには「ご飯の量が2倍です。」「初めての方のご遠慮下さい。」「食べきれなかったら料金2倍。」と書かれている。

他のメンバーが並盛りを注文（To リーダーは並盛りの半分でお腹いっぱい）しましたが、並盛りで既に大盛りの量。メニュー到着すると、そこには3合くらいあろうかという山盛りのライスがドン！それはまさに「谷川岳」のようでした。

ですので、あしま園の大盛りカレーは「谷川盛り」と勝手に命名させて頂くことにしました。もちろんその後、ペロリっと平らげました。



【あしま園で夕食タイム】



【谷川盛りカレーライス】